



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日

上場会社名 ロックペイント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4621 URL <http://www.rockpaint.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内海 東吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当 (氏名) 市川 智 TEL 06-6473-1551  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,387	△1.8	1,042	93.7	1,044	38.8	651	35.3
28年3月期第2四半期	12,620	3.5	538	17.8	752	△3.7	481	△6.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 553百万円 (92.0%) 28年3月期第2四半期 288百万円 (△54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	33.90	—
28年3月期第2四半期	25.05	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	41,170	33,756	82.0	1,755.70
28年3月期	40,722	33,347	81.9	1,734.26

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 33,751百万円 28年3月期 33,341百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成28年11月8日）公表いたしました「設立65周年記念配当」剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 2円50銭

29年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 2円50銭

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	3.7	1,800	40.4	1,900	20.4	1,200	26.9	62.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	22,000,000株	28年3月期	22,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,776,011株	28年3月期	2,775,089株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	19,224,163株	28年3月期2Q	19,225,981株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復を続けているものの、台風等の天候不順や円高の継続といった影響を受け、横這いで推移しております。海外経済については、米国大統領選挙や英国のEU離脱問題等を控え、依然として不確実性が大きい状態です。

塗料業界においては、自動車新車の分野にやや回復が見られましたが、全体では前年同期ほぼ横這いの結果となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、「機械に出来ることは機械に任せ、社員には人間本来の能力、創造力を大いに発揮してもらおう」という経営理念に基づき、高品質の塗料を適正価格で提供することを基本に事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高123億87百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益10億42百万円（前年同期比93.7%増）、経常利益10億44百万円（前年同期比38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億51百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

当社グループは、塗料等製造販売の単一セグメントであるため、製品分野別の業績は次の通りであります。

#### ①車両塗料分野

環境対応と生産性向上の両立に有効な高性能ベースコートと環境配慮型クリアー及び環境配慮型下地塗料の拡販に加え、水性シリーズ「ネオウォーターベース」と、昨年発売した大型車両や産業機械等に適した環境配慮型2液アクリルポリウレタン塗料の拡販に努め、大型車両の分野は堅調に推移しましたが、ノンフリート等級制度改定等による修理入庫数減少の影響を補いきれず、売上高は前年同期を下回りました。

#### ②建築塗料分野

改修・リニューアル市場に重点を置き、弱溶剤2液型フッ素樹脂塗料「サンフロンUV」及びサイディングボード用下地調整剤「SBフィラー」等を4月に上市し、ご好評をいただいておりますシリコン系塗料の「ハイパービロロックセラ」や「ユメロック」シリーズ、エポキシ系サビ止め「サビカット」シリーズ等の高付加価値製品の拡販に努め、好調に推移しましたが、市況の冷え込みは大変厳しく、売上高は前年同期を下回りました。

#### ③工業塗料分野

塗料分野では積極的な営業活動により環境対応品の粉体塗料を中心に新規需要を獲得し、接着剤分野では国内外の包装材用途で需要開拓及び高付加価値製品の拡販を行いました。その結果、売上高は前年同期を上回りました。

#### ④家庭塗料分野

主力のエアゾール製品が高性能サビ止めスプレーを中心に回復基調にあり、また、簡易防水型床用塗料等が堅調に推移しましたが、市況の冷え込みを補うには至らず、売上高は前年同期を下回りました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結結果計期間の損益への影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に表示していた6,172百万円は、「受取手形及び売掛金」5,811百万円、「電子記録債権」361百万円として組替えております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,042	11,174
受取手形及び売掛金	5,811	5,972
電子記録債権	361	394
商品及び製品	3,229	2,933
仕掛品	488	478
原材料及び貯蔵品	1,267	1,194
その他	522	550
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	21,719	22,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,511	4,380
土地	7,888	7,875
その他(純額)	2,857	2,649
有形固定資産合計	15,257	14,905
無形固定資産		
その他	275	202
無形固定資産合計	275	202
投資その他の資産	3,504	3,402
貸倒引当金	△33	△33
固定資産合計	19,002	18,477
資産合計	40,722	41,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,330	3,433
未払法人税等	479	388
賞与引当金	301	320
その他	1,163	1,058
流動負債合計	5,274	5,201
固定負債		
役員退職慰労引当金	165	178
退職給付に係る負債	1,654	1,724
資産除去債務	73	72
その他	207	237
固定負債合計	2,100	2,213
負債合計	7,375	7,414

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,100	1,100
資本剰余金	530	530
利益剰余金	32,836	33,343
自己株式	△2,164	△2,164
株主資本合計	32,302	32,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	958	927
為替換算調整勘定	229	145
退職給付に係る調整累計額	△148	△129
その他の包括利益累計額合計	1,038	942
非支配株主持分	6	4
純資産合計	33,347	33,756
負債純資産合計	40,722	41,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,620	12,387
売上原価	10,041	9,297
売上総利益	2,578	3,089
販売費及び一般管理費	2,040	2,046
営業利益	538	1,042
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	28	31
受取賃貸料	62	65
業務受託手数料	94	28
持分法による投資利益	39	74
雑収入	20	21
営業外収益合計	250	226
営業外費用		
売上割引	13	14
為替差損	21	199
雑損失	0	11
営業外費用合計	35	224
経常利益	752	1,044
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	1	9
固定資産売却損	—	0
減損損失	12	25
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	14	35
税金等調整前四半期純利益	738	1,010
法人税等	257	360
四半期純利益	481	650
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	651

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	481	650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	△31
為替換算調整勘定	△1	△84
退職給付に係る調整額	14	18
その他の包括利益合計	△192	△97
四半期包括利益	288	553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288	555
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	738	1,010
減価償却費	553	553
減損損失	12	25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	80	97
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	19
受取利息及び受取配当金	△33	△36
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	2	207
持分法による投資損益(△は益)	△39	△74
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△724	△203
たな卸資産の増減額(△は増加)	628	354
仕入債務の増減額(△は減少)	203	108
未払消費税等の増減額(△は減少)	6	△85
その他の資産の増減額(△は増加)	14	△28
その他の負債の増減額(△は減少)	△66	82
小計	1,385	2,047
利息及び配当金の受取額	33	36
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△261	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,157	1,628
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,400	△2,454
定期預金の払戻による収入	2,500	2,400
固定資産の取得による支出	△398	△336
固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の売却による収入	—	2
貸付けによる支出	△53	△43
貸付金の回収による収入	55	57
その他の支出	△4	△3
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301	△376
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△144	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144	△144
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	712	1,077
現金及び現金同等物の期首残高	3,762	5,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,475	6,320

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。